

2009年3月期 中間決算説明会

2008年11月28日

本州化学工業株式会社
(証券コード: 4115)

目次

.当社の特徴	3
.09 / 3期 中間期実績	7
.09 / 3期 通期見通し	16

当社の特徴

フェノール誘導品に特化

石油化学
メーカー

本州化学工業

顧客

樹脂メーカー
フォトレジストメーカー
医薬品メーカー

フェノール
メタパラクレゾール

フェノール誘導品
(中間原料)

樹脂
フォトレジスト
医薬品

三井化学より購入

顧客から頼りにされる
製品開発パートナーとしての関係

歴史的経緯と基盤技術の蓄積から
フェノール誘導品の合成が得意

最終製品向けに中間原料を供給



「コア製品」を見出し、育成、強化・拡大を図っていく

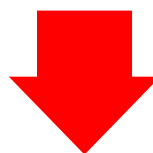
フェノール誘導品事業の展開

- 1914年11月 会社設立(由良精工合資会社)
- 1915年 2月 合成フェノールの製造開始
- 1961年 3月 ビスフェノールAの製造開始
- 1971年 1月 トリメチルフェノール(ビタミンE原料)の製造開始
- 1988年 4月 ビスフェノールA事業を旧・三井石油化学工業(株)に譲渡
- 1990年 6月 フォトレジスト材料の生産開始
- 1991年 3月 ビフェノールの製造開始
- 2004年12月 Hi - Bis社(特殊ビスフェノール)の営業開始
- 2008年 2月 ビスフェノールF製造設備増設

コア製品

次の条件を満たす製品を**コア製品**と位置付け

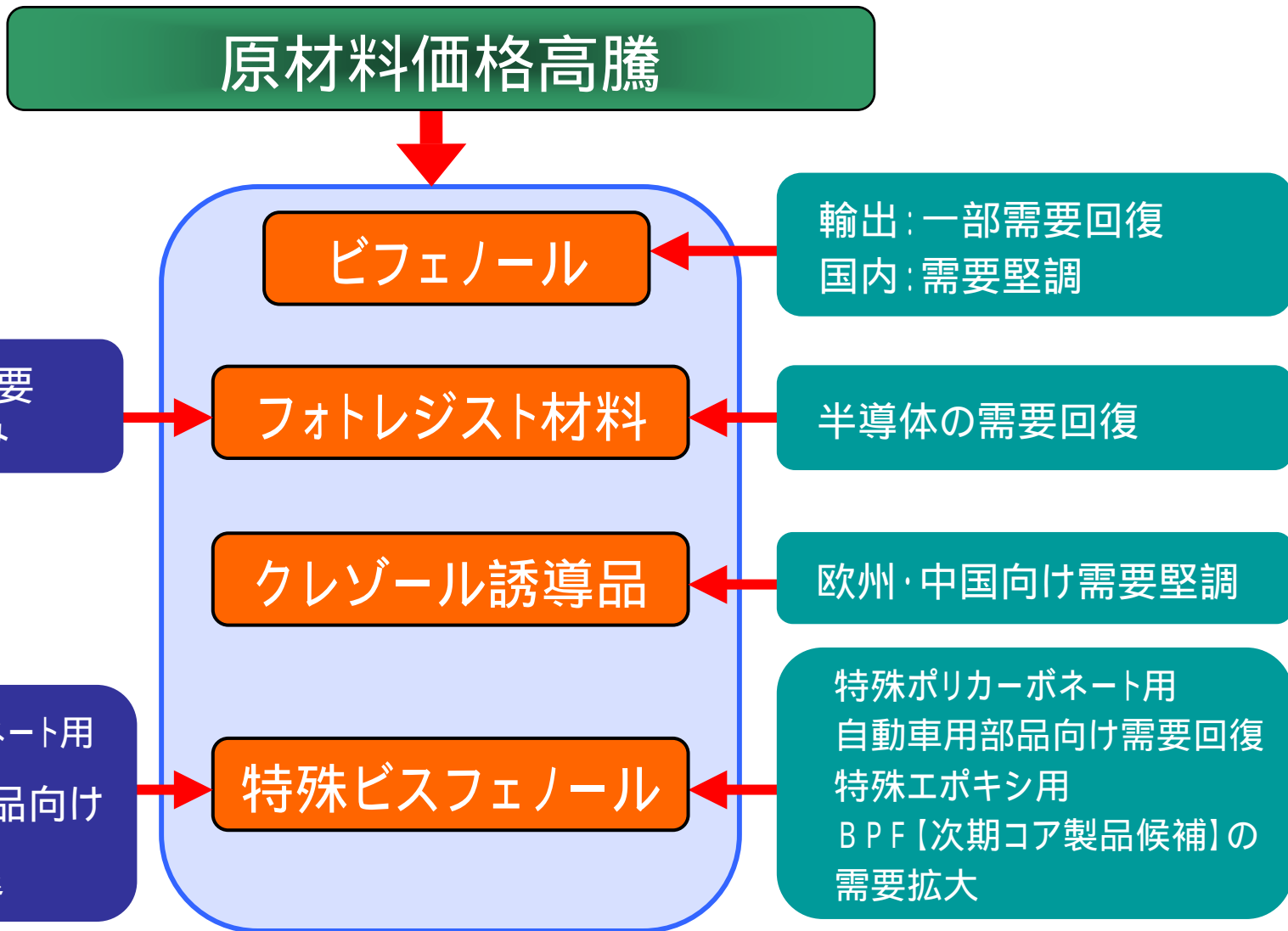
- ・成長する市場がある
- ・独自技術が活用できる
- ・世界において高いマーケットシェアを有している



ビフェノール(液晶ポリマー原料)
フォトレジスト材料
クレゾール誘導品(トリメチルフェノール等)
特殊ビスフェノール(高機能樹脂原料)

.09 / 3期
中間期実績

09 / 3 期中間期の事業環境



09 / 3 期中間期 コア製品の販売状況

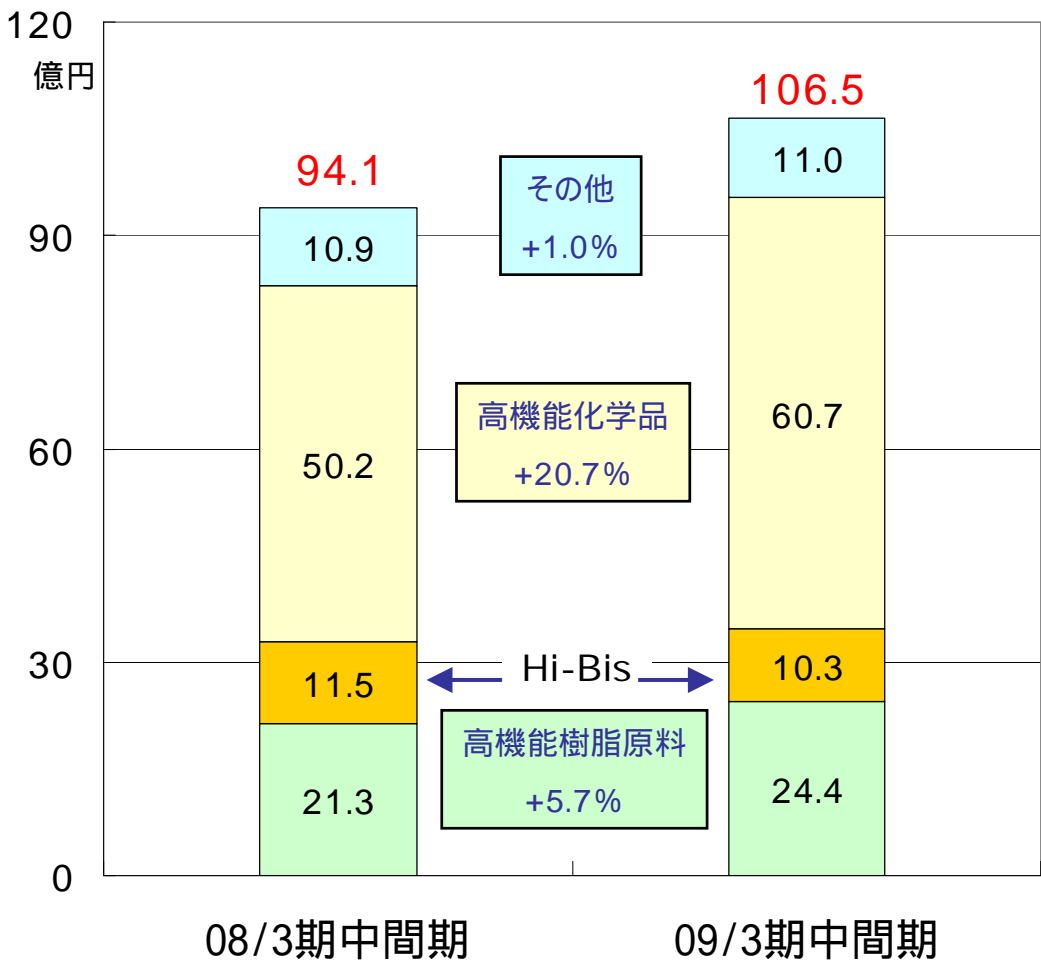
部門	コア製品	販売状況
高機能樹脂原料	ビフェノール	国内：堅調な需要を背景に好調な販売維持 輸出：競合他社との競争激化により不振が続けていたが一部で需要回復
	特殊ビスフェノール	特殊ポリカーボネート用 自動車用部品向けは需要回復したものの、光学用電子部品向けは需要減退 特殊エポキシ用 B P F【次期コア製品候補】の需要拡大 生産能力増強 2000ト/年 4000ト/年 (2008/2)
高機能化学品	フォトレジスト材料	半導体：需要回復により堅調に推移 LCD：需要伸び悩みにより販売減少
	クレゾール誘導品 (トリメチルフェノール)	欧州向け：好調を維持、販売価格を改定 中国向け：需要回復により堅調に推移

09 / 3期中間期 連結業績概要

< 単位: 百万円 >

	08 / 3期中間期		09 / 3期中間期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前年同期比
売上高	9,413		10,655		13.2%
経常利益	850	9.0%	1,122	10.5%	31.9%
中間純利益	455	4.8%	516	4.9%	13.5%
1株あたり 中間純利益	39.64円		45.00円		

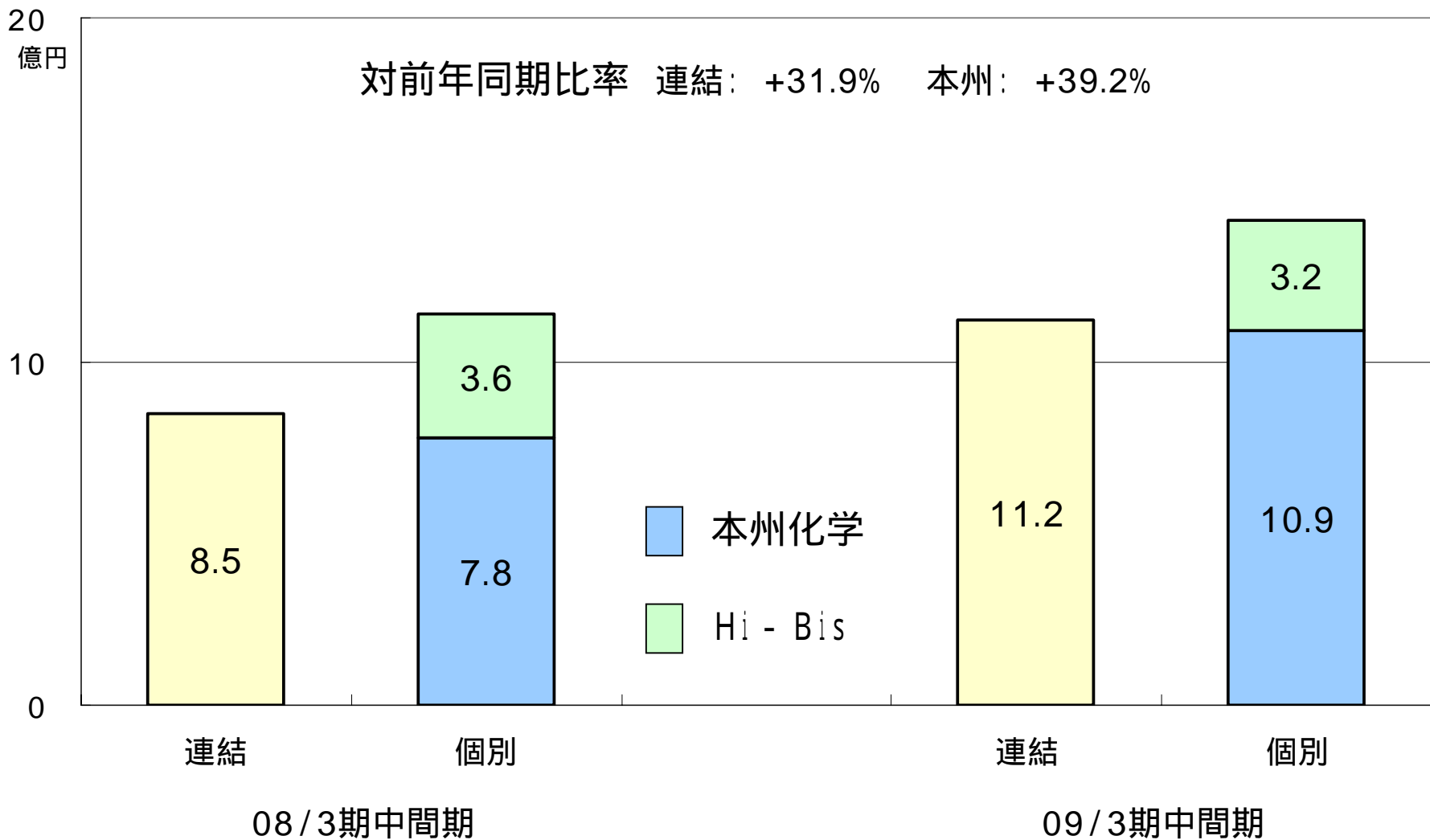
売上高(連結)



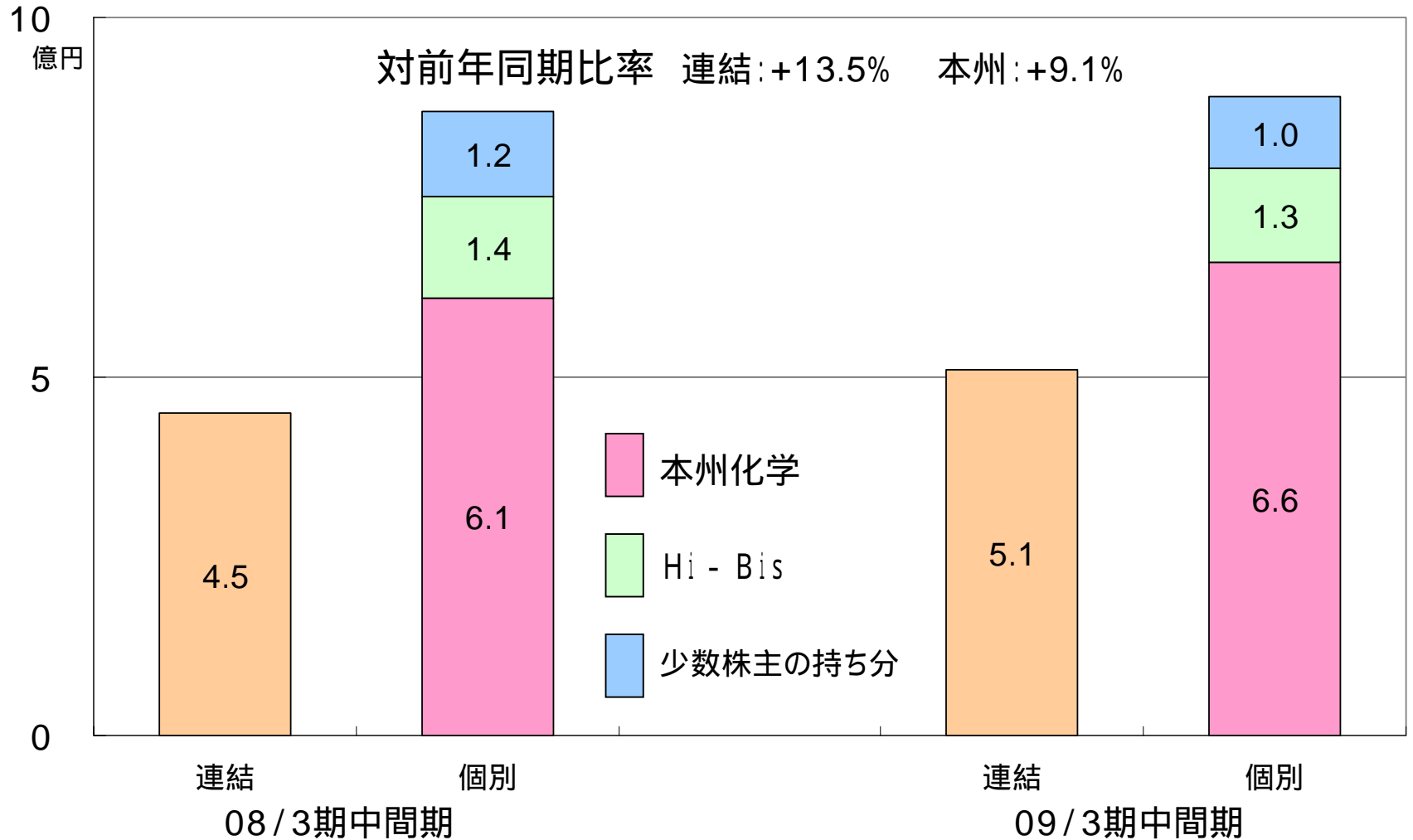
ビフェノール	↗
特殊ビスフェノール	↘
フォトレジスト材料	→
クレゾール誘導品	↗

対前年同期比	+13.2%
変動要因	
価格差	8.5億円
数量差	3.9億円
合計	12.4億円

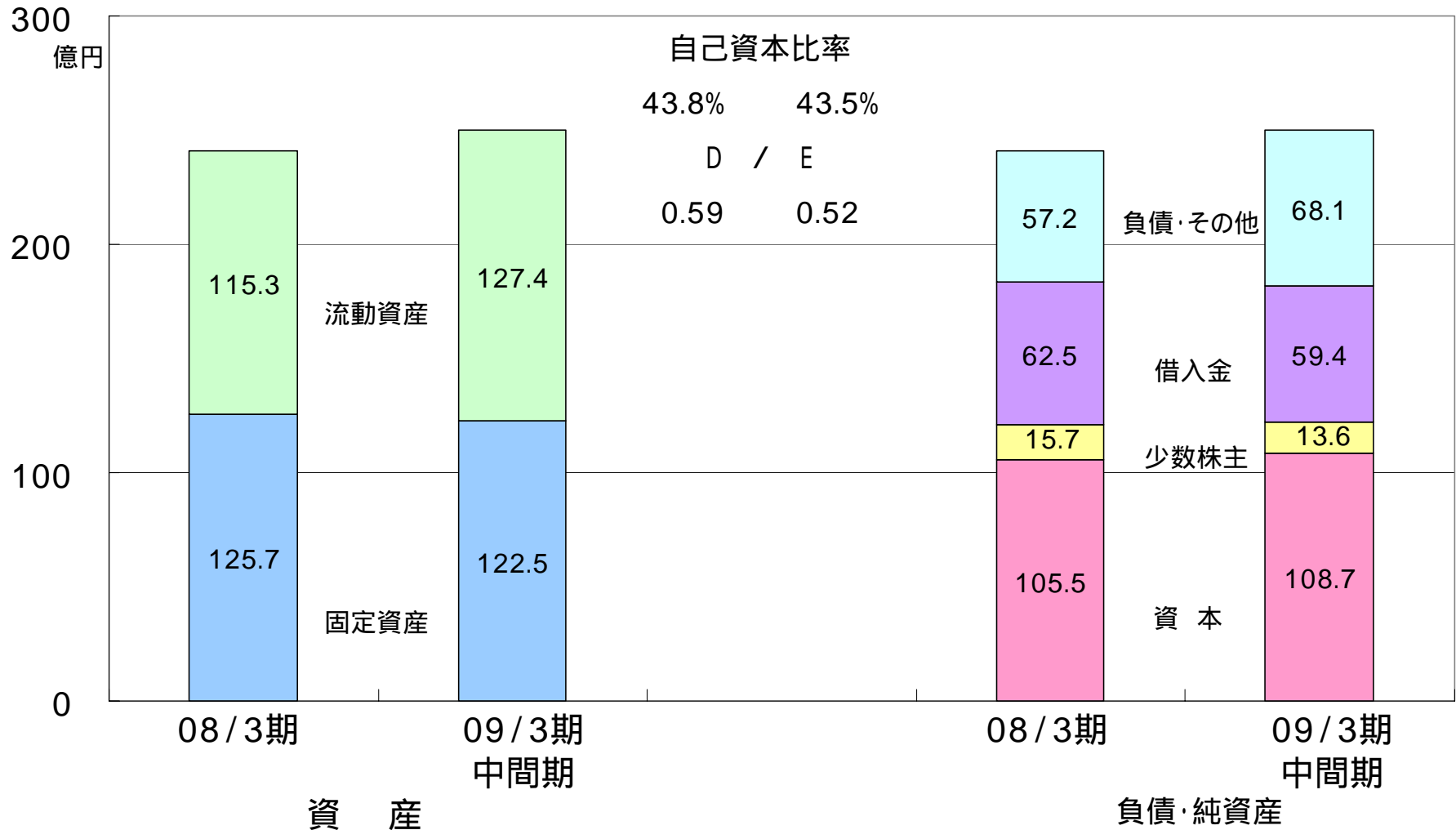
經常利益(連結)



純利益(連結)



貸借対照表(連結)



キャッシュフロー - (連結)

< 単位: 百万円 >

項 目	08/3期 中間期	09/3期 中間期
. 営業活動によるキャッシュフロー (a)	1,526	1,558
. 投資活動によるキャッシュフロー (b)	1,502	645
フリーキャッシュフロー (a)+(b)	24	913
. 財務活動によるキャッシュフロー	472	453

.09 / 3期 通期見通し

09 / 3期下期の事業環境見通し

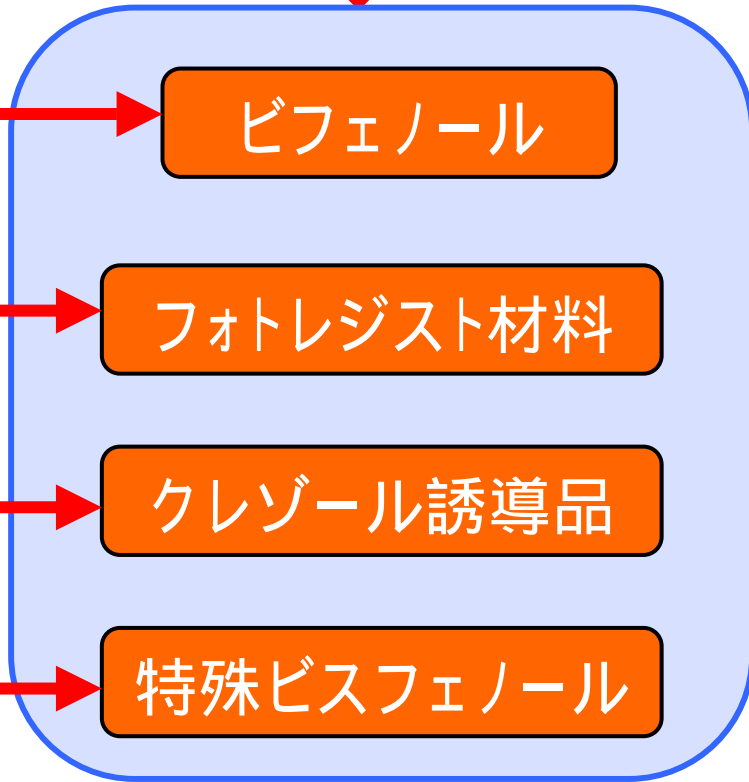
国内外景気の減速悪化
為替レートの動向不透明



国内外の需要減退

半導体・LCDとも
需要減退

国内外の需要減退
円高影響



ビフェノール

フォトレジスト材料

クレゾール誘導品

特殊ビスフェノール

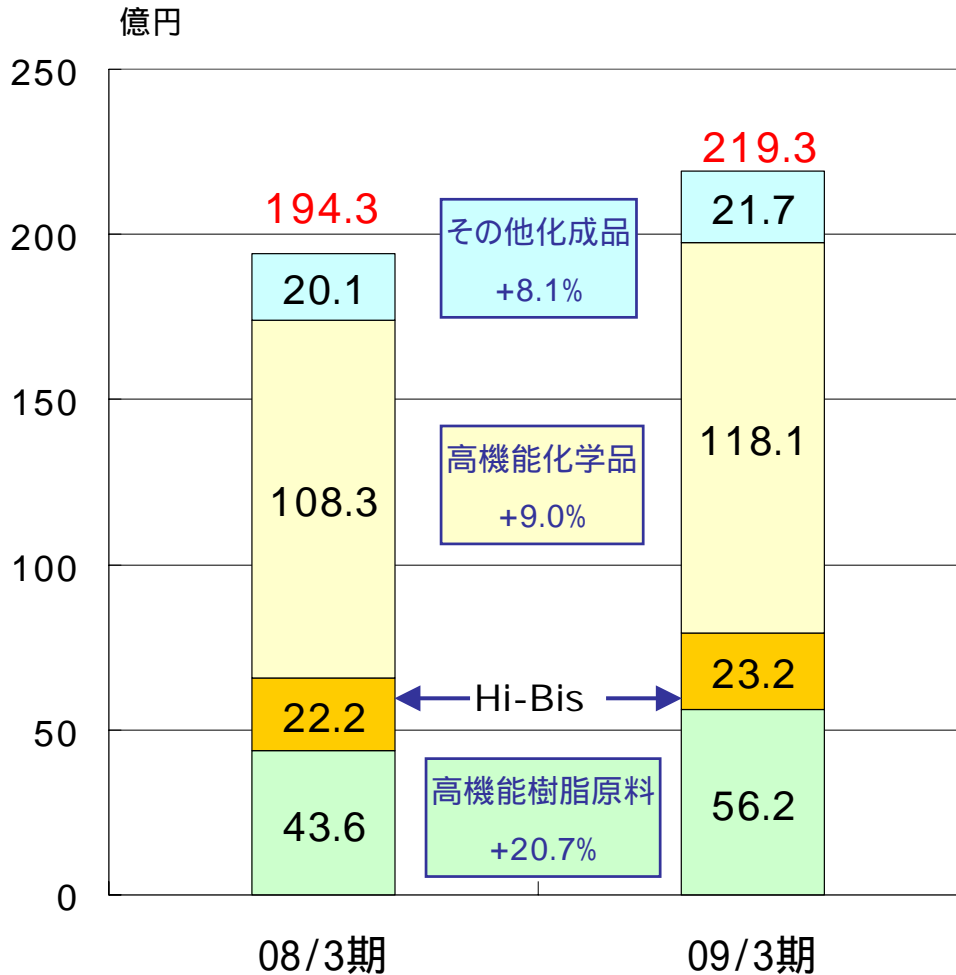
ナフサ価格
下落基調

09 / 3期 通期業績見通し(連結)

< 単位: 百万円 >

	08 / 3期		09 / 3期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前期比
売上高	19,430		21,930		+12.9%
経常利益	1,703	8.8%	1,800	8.2%	+5.7%
当期純利益	767	3.9%	930	4.2%	+21.2%
1株あたり 当期純利益	66.80円		80.97円		

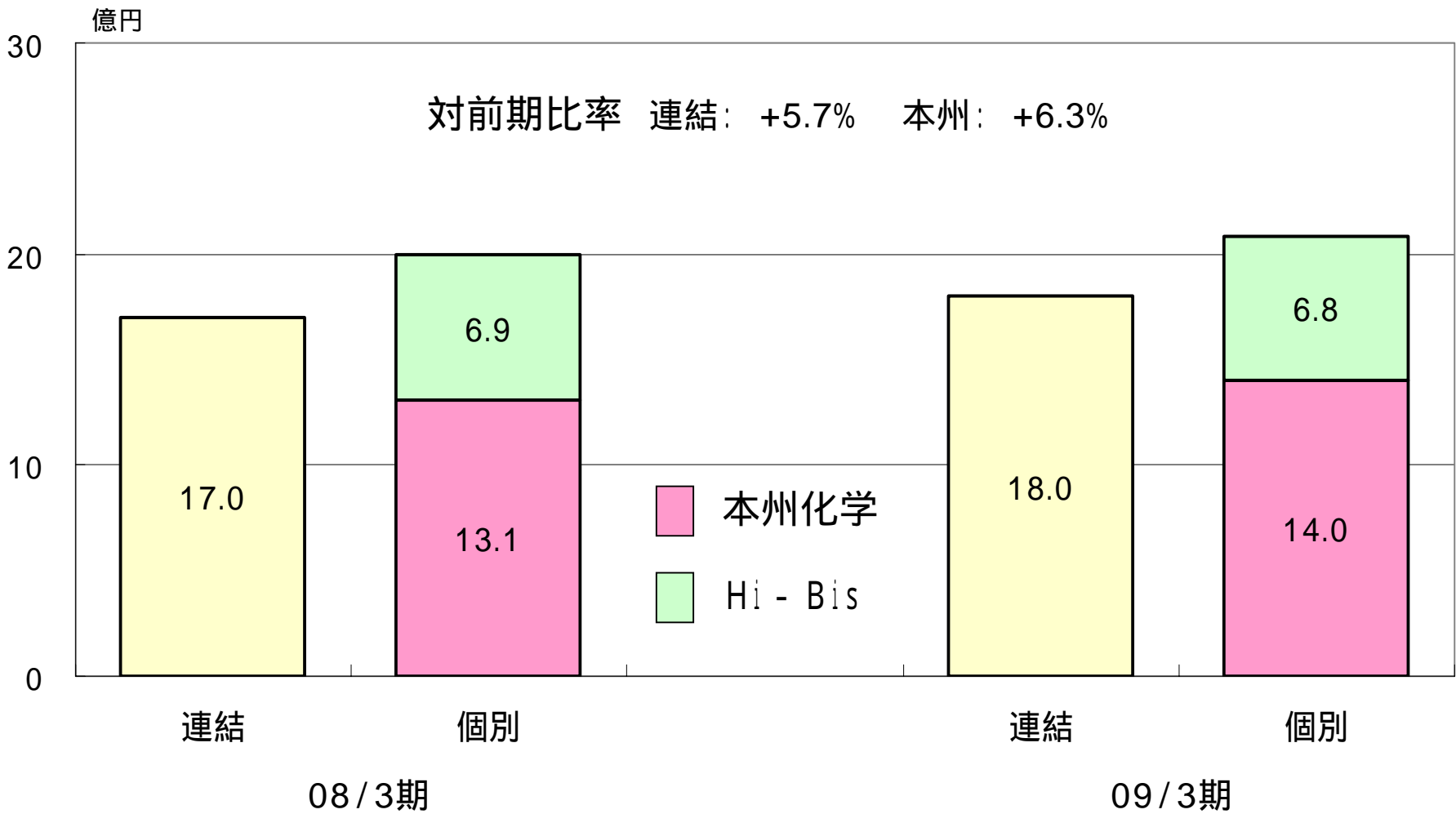
売上高(連結)



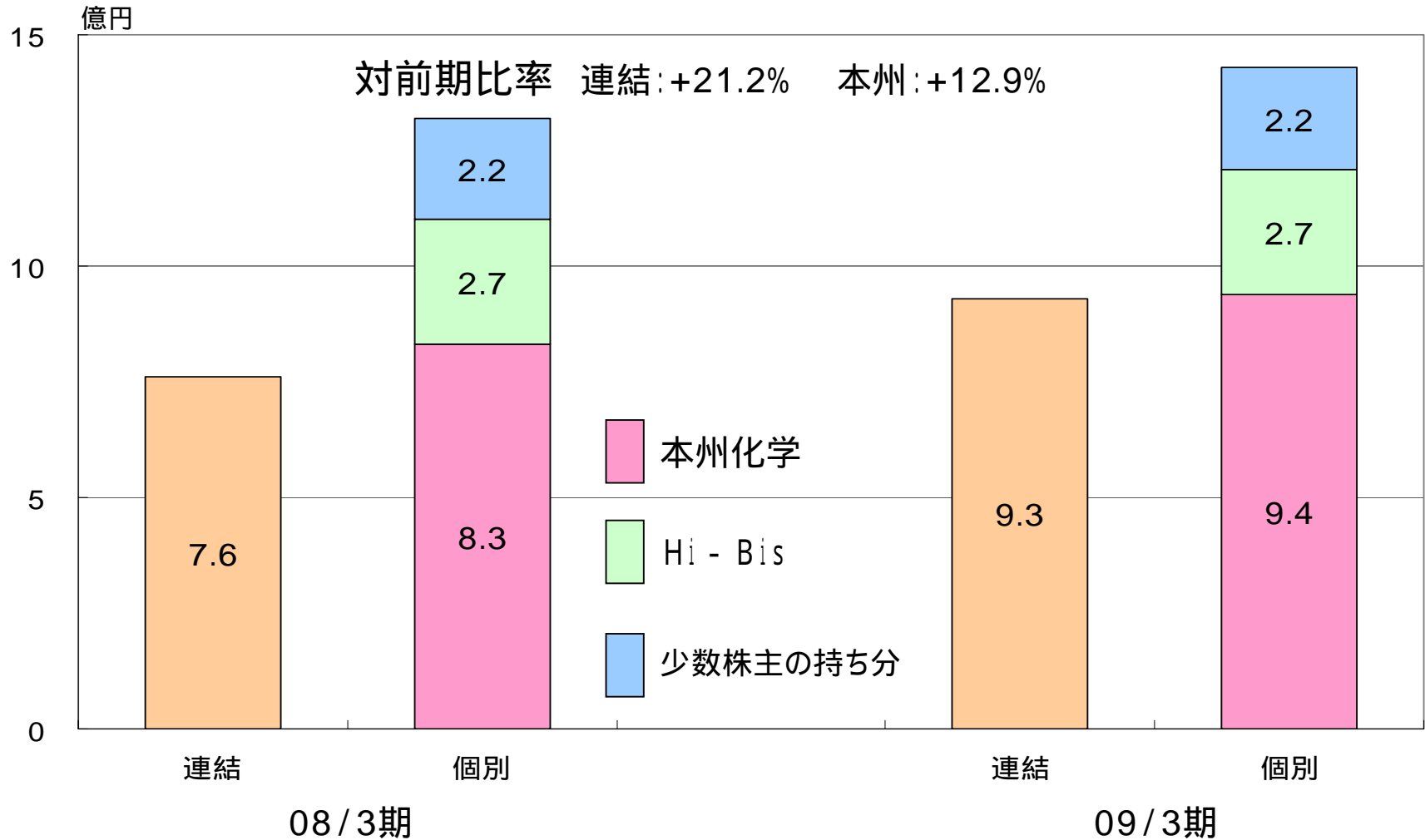
コア製品の売上動向 (2008.5.30説明会時)		今後の 需要見込
ビフェノール	➔	➔
特殊ビスフェノール	↗	↘
フォトレジスト材料	➔	➔
クレゾール誘導品	↗	↘

売上高	
対前期比	+12.9%
変動要因	
価格差	9.4億円
数量差	15.6億円
合計	25.0億円

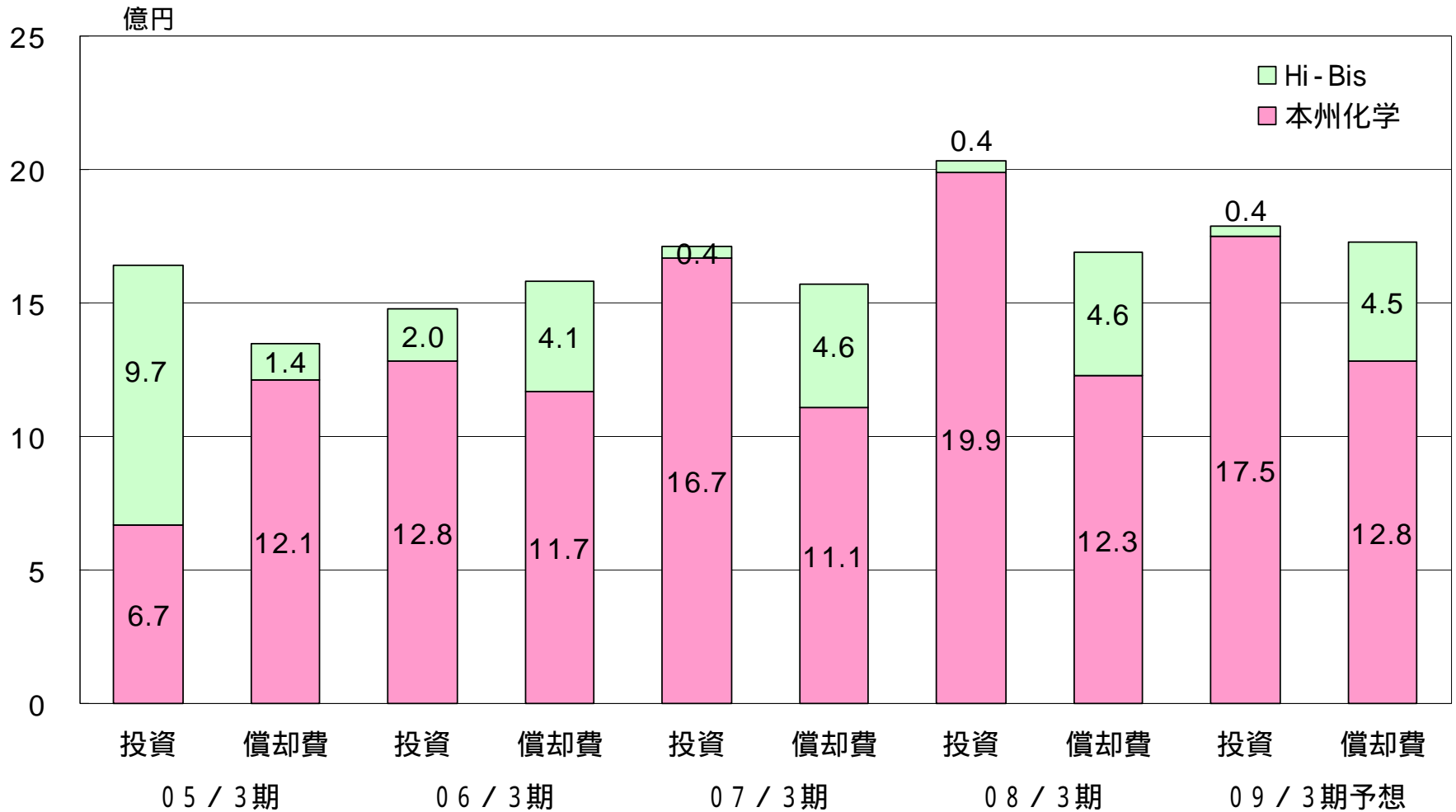
經常利益(連結)



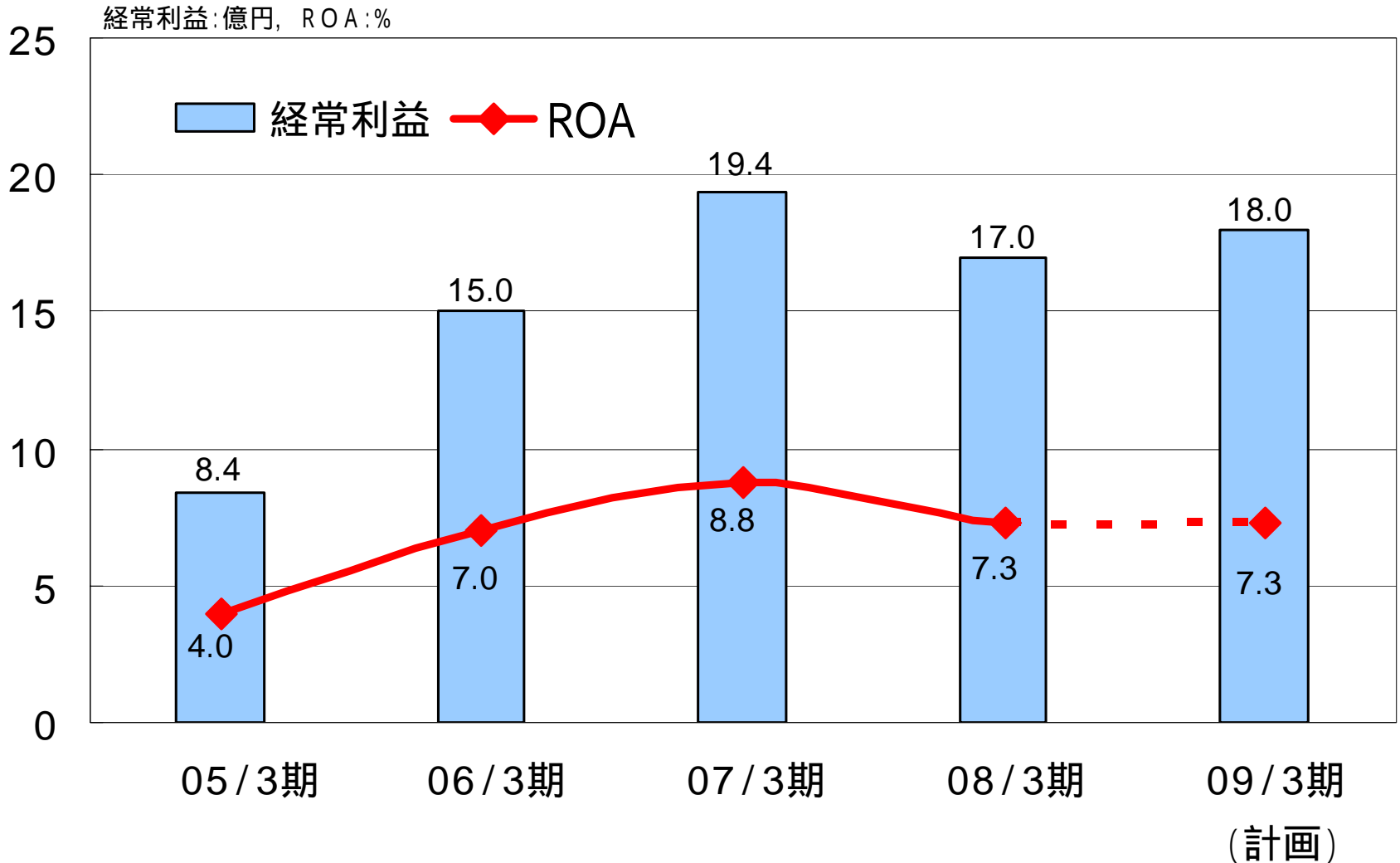
純利益(連結)



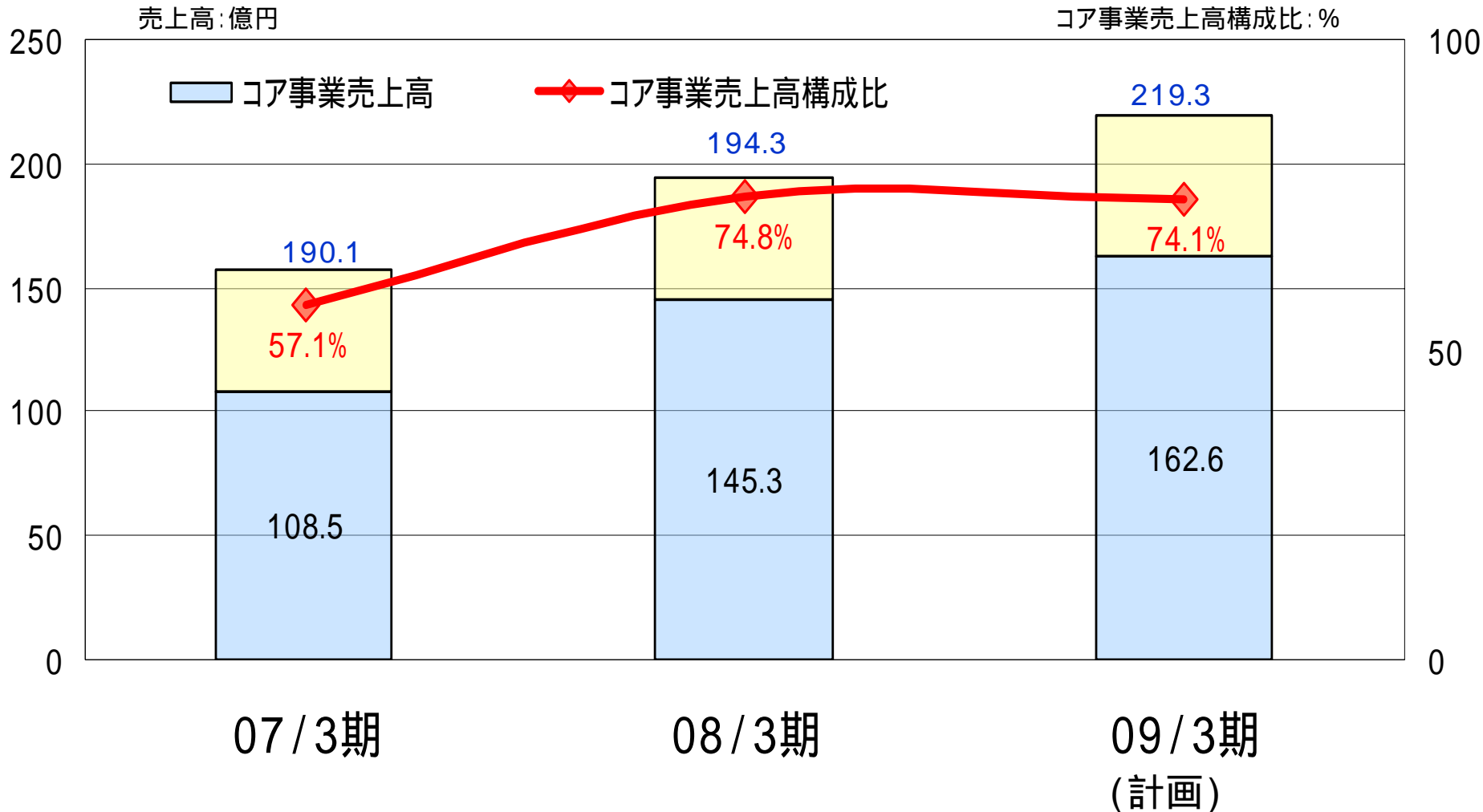
投資(連結)



計数目標 (連結)

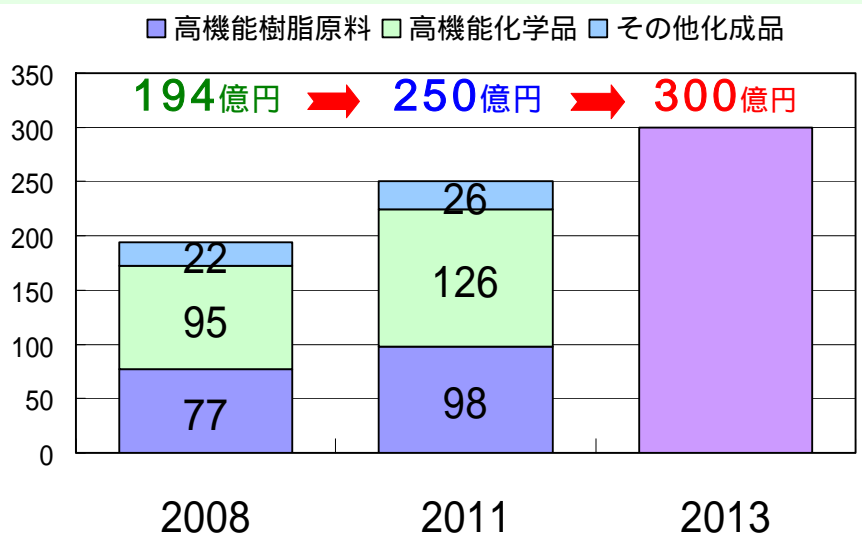


コア製品の強化・拡大



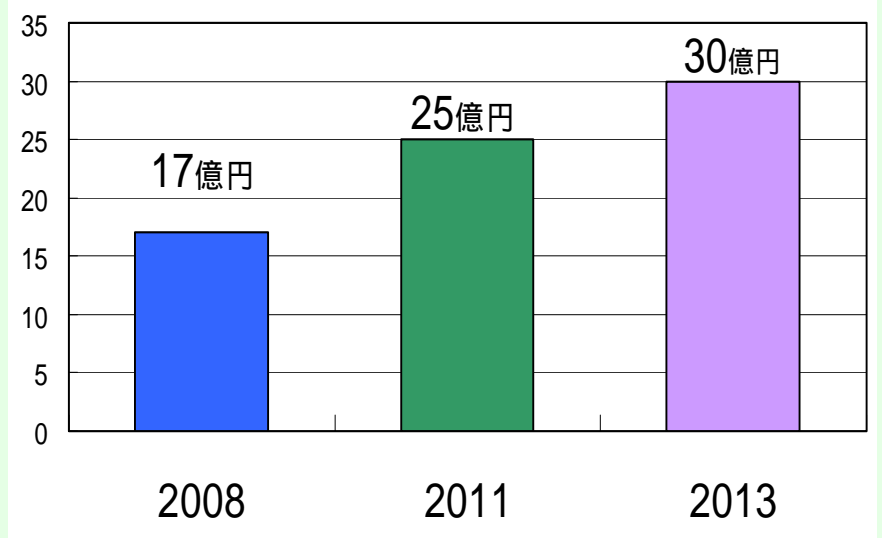
経営目標（計数計画）

売上高



経常利益

ROA 10% ROS 10%



2013年(創立100周年)売上高300億円に向けて成長を図る

事業戦略

既存コア事業の強化・拡大

1. クレゾール誘導品

川下展開強化および成長需要の取り込みによるリーディングカンパニーとしての地位堅持

2. ビフェノール

プラント合理化による競争力強化および成長需要の取り込み

3. 特殊ビスフェノール

品揃え体制の構築による新規顧客開拓および用途開発による業容の拡大

4. フォトレジスト材料

線事業の堅持および次世代(EUV)向け技術の開発

事業戦略

次期コア候補の育成・強化

1. ビスフェノールF

2008年2月 増強工事完工
(2,000^{トン}/年 4,000^{トン}/年)

2. 感光性ポリイミド材料

拡大する需要の取り込み

3. 精製BHT

2008年6月 製造設備新設工事完工
2009年1月 事業開始

(株)エーピーアイコーポレーションより事業譲受け

新規事業の創出

高機能ポリマー原料の開発
高機能イミド原料
高機能エポキシ樹脂原料 など

研究開発資源の投入拡大

< お問い合わせ先 >

本州化学工業株式会社

人事総務部 古庄英昭

経 理 部 和智達也

TEL : 03 - 3272 - 1481
FAX : 03 - 3272 - 1480
e - mail : ir@honshuchemical.co.jp
URL : <http://www.honshuchemical.co.jp/>

本資料における将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用下さい。